

ささえりあ三和は熊本市の委託を受け、「城山・高橋・池上」校区にお住まいの方々を担当しています。

広げよう 誰もが安心して暮らせるまちづくり

認知症の方やその家族が安心して暮らせる地域づくりを目指すため、令和5年12月20日に高橋小学校4・5年生へ向けて、認知症サポーター養成講座を開催しました。今回は、昨年度認知症サポーター養成講座を受け「認知症サポーター」となった熊本西高等学校2年生16名と西区役所認知症地域支援推進員にも協力してもらい、楽しみながら認知症についてみんなで考えることが出来ました。

まずはスライドを使い、○×クイズなども取り入れながら認知症についてお話しをしました。

サポーターの証
サポーターカード



認知症サポーターとは？

認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人とその家族に対して温かい目で見守ることが出来る「応援者」のことです。サポーターになるには養成講座を受講する必要があります。「なにか」特別なことをする人ではなく、学んだことを身近な人に伝えたり、認知症について偏見をなくしていくこと等も役割の1つです。

次に寸劇を見てもらい、①悪い対応をされた認知症のおじいさんはどんな気持ちになったか②声掛けや対応はどうすれば良かったかの2つについて考えてもらいました。



グループワークの進行役は高校生。



発表後、良い例の寸劇を見てもらい、良い例と悪い例の違いを確認してもらいました。



受講後のアンケートには、「心を傷つけないように話したい」「高校生はわかりやすく言ってくれて優しくかった」「帰ったらおじいちゃんに認知症のことを教えます」等ありました。誰でもなる可能性のある「認知症」について、これからも一緒に学び、誰もが暮らしやすい地域づくりが出来ればと思います。

